

研究主題： 自分の考えを 筋道を立てて説明できる子の育成 ～学んだことを活用する場を意識しての授業づくり～

■指導内容： ①指導の系統性を踏まえて、付けたい力の明確化 ②単元を貫く言語活動を位置づけた授業構想 ……付けたい力に最適な言語活動の選定

■指導過程

国語

一 次	二 次	三 次
本の帯を使って人物 当てクイズをする。	登場人物の言葉から、その人の生き方を考えよう 教材文と自分の生き方を比べて話し合う(同じ考え・違う考え) 文学的表現と説明的表現の違いを読み取り、伝記の様式についてまとめる。(読み比べをして、帯の特徴をさぐろう。)	伝記を読んで本の帯を作り、生き方を教えてくれる「おすすめ人物ブックフェア」をしよう。

＜ 並行読書 ＞

この言語活動で、どんな力が
つくのか明らかにして

学校研究の取組 … 板書上で表れる形は？ (自分の考えを伝え合い、学び合う授業)

⑦「**学習用語**」を使う、使わせる。
用語の意味を習得し、その用語を活用して、文章と向き合い自分の考えをつくり、人に対してその思いを論理的に表現させる。

⑧**系統性を踏まえて指導**

(低)登場人物の行動を中心に…
(中)登場人物の性格や気持ちの変化、
情景などについて…
(高)登場人物の相互関係や心情、場面
についての描写を捉え…

⑨**つなぎ言葉**を意識させる。
(接続詞・語りはじめの言葉)

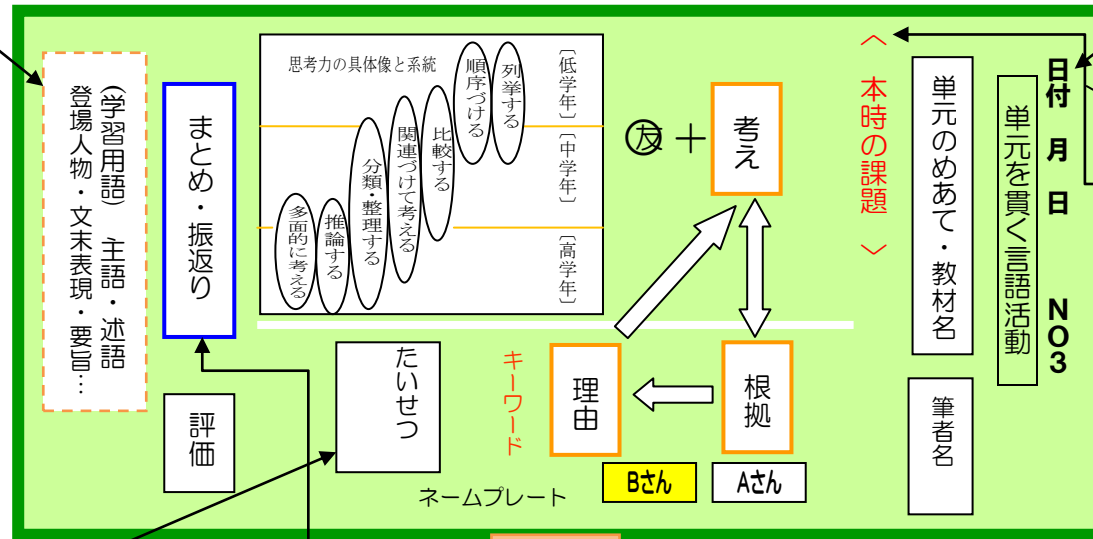
⑩単元・教材で身に付ける知識
や技能を示した「**たいせつ**」を
生かす(表示)

⑪**友達**の考えの**共通点・相違点**
などを意識させる

⑫**ネームプレート**を使用。考え
の変化は**黄色**

⑬課題に対応した**まとめ**を意識
する。**青チョーク**で囲む

⑭**字数**(80字以内など)・**〇〇**に続
くように・**敬語**を用いてなど**条件**
をつけて**書かせる場**の設定



【**まとめの場**】

どの子も達成感が持てるよう、書き
方の例を示してまとめさせる。

(低) 大切な言葉を穴うめしてまとめる。

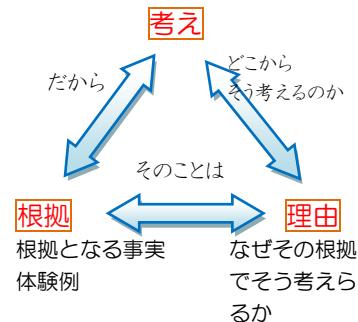
(中) 黒板に書いてあるキーワードをつ
なげてまとめる。

(高) 大切な言葉は何かを考えて、自分
でまとめる。

※**可視化** (活用させたいもの)
学習の足跡を残し、学習を思い起こ
させる。(必要なものは教室に掲示)

根拠・理由・考えの3点セット

【**三角ロジック**】



友達に問かける言葉で
「～ですね。」「～ですよ。」
「ここまでのいいですか。」
(聞き手)
「…私の考えとの違いは」



《**取り組み**》

①日付・授業番号(授業回数)
(後でノートで振り返りやすくするため)

②課題は**赤チョーク**で囲む
□ < > で表示

③課題は**必然性・自覚的**なものに

④教師が大切にしたいキーワードは
オレンジ色のチョークを使用

⑤自己との対話
既習学習/自分の経験/友達の考え
/教材文を生かして考えさせる

⑥自分の考えを支える**根拠・理由**を
伝え合わせる

【**意見をつなぐために…**】

教師は子どもの発言に対して

▲先生は復唱しない
▲先生がいい直さない
▲先生が解説しない

子どもに
投げかける

【**発問の吟味**】

「あなたは… どう考えるの？」
「あなたは… どう感じる？」
「あなただったら、どうする？」

根拠を明確にした説明・論述

考え 私は…だと思います。
根拠 叙述に述べられていること・事実
理由 「…」ということは～ということです。

珠洲市立飯田小学校